

# 第2回 クーニンTV杯



碧南ライナーズ加藤(遙)選手

11月とは思えない暖かな陽射しで、注ぐ町田市藤の台球場にて、第2回クーニンTV杯少年野球大会決勝戦が行われた。各勝ち戦を1対1で争うトーナメント形式で、碧南ライナーズ(愛知)と町田玉川(東京)が決勝戦に進んだ。碧南ライナーズが、最終回の左中間をキヤブリで抜き、加藤(遙)選手のタイムリーホームランで逆転勝利を果たしました。

接戦を制し碧南ライナーズ勝利

町田玉川	0	0	2	0	2	x	x	4
碧南ライナーズ	1	2	0	0	2x	x	x	5

初回、先発の加藤(壱)投手が表を無失点に抑えた碧南ライナーズはその裏。先頭打者の加藤(遙)選手が初球を捉え出塁し効果的に浦壘を進めると、3番杉選手のレフト前夕イムリードで先制に成功します。



2回には、2アウトから碧南ライナーズ1番球地加藤(遙)選手、2番宮選手がそれぞれ四球を選び出塁。盗塁を決めるが、相手の打球を誘う好走塁を見せホームを陥れ、2点を追加します。



しかし3回表。3点ビハインドの町田玉川は、1アウトから9番小澤選手がセンターを放つと、2番草野選手のタタイムリーツーベースで1点を返します。また1点を追加します。玉川は、裏を継ぎます。草野投手が無失球を引き





4回を両チーム無失点で終え、制限時間により最終回となつた5回。1点を追う町田玉川は、この回先頭の2番草野選手が死球を受け出塁すると、続く3番三好選手がセンターフィールド上を越えるツーランホームランを放ち逆転に成功します。



後がない碧南ライナーズはその裏。この回先頭ズ番選手が死球で出塁。7番角谷(健)が送りバントを決めると、ここ中間を抜けるタイムリースリーベースが飛び出し、最終回にして試合を振り出しに戻ります。



クーニンさんの挨拶にもあったように、どちらのチームが勝ってもおかしくない、投打・守備力・機動力、どれをとってもレベルの高い接戦でした。試合前にはスピードガンで全選手の投球を計測。クーニンさんがキャッチャーを務めながら1人1人の確にコメントされていました。この試合の模様はYouTubeクーニンTVにて配信予定のことです！

>> <https://www.youtube.com/c/qooninTV>

